



## 御用学者考

京都大学新聞 2月16日号複眼時評より転載

昭和 45 年卒 松久 寛



福島原子力発電所の事故以来、御用学者という言葉が氾濫している。もともとは、御用学者は江戸時代に幕府に雇われて歴史などの研究をしていた人を指していた。私が子どもの頃のチャンバラ映画では、十手を持った役人が「御用だ、御用だ、お上の御用だ」と走り回っていた。いまでも京都の町には、「宮内庁御用達」という店がたくさんある。要はお上の下僕である。一方、学者という言葉には、迎合せず真理を探究するというニュアンスがある。この御用と学者という正反対のニュアンスをもつ2語を結合させたところが絶妙の皮肉で面白い。

1960年に水俣病の有機水銀原因説をはぐらかすために、日本化学工業協会が日本医学会会長を委員長として多くの東大教授などを集めて水俣病研究懇談会を組織した。これによって水俣病の原因があいまいにされたために、単に加害企業の責任逃れだけではなく、水銀の放出が続き被害は拡大したのである。これが御用学者という言葉のはしりであると思う。京都大学で、御用学者という言葉をよく耳にしたのは、1970年初めの大学紛争が一段落し、学生が公害などに取り組み始めたころである。瀬戸内海の汚染、尼崎の国道43号線の騒音など公害を告発するグループはいくつかできていた。そのころ、多くの学者は行政に協力し諮問委員会などに参加していた。そこで、公害問題にかかわる学生によって御用学者糾弾という言葉が使われていた。一般的に、行政の委員会では、ストーリーは官僚によって作られており、強硬に意見を言わないとそのまま通って行くのである。黙っていると、物わかりのいい先生と評価され、次々にいろんな委員会にお呼びがかかるのである。最近、電力会社から金をもらっていた原子力関連の委員会の学者は、「金をもらっていたが、意見は影響されていない」と弁明している。この弁明が真実なら、彼らは御用学者ではないが、電力会社に対する詐欺にならないのか不思議である。

1973年に放射性物質が入っていたと疑われるポリ容器が、京都大学出入りのごみ処理業者によって、大文字山の東側にある比叡平に他のごみと一緒に不法投棄された。これを住民が発見し、京都大学に抗議し、すぐに、京都大学総長は謝罪をした。その時に、ある新聞社が、京都大学に転任してきたばかりの放射線が専門のA教授にコメントを求めた。A教授は、「問題はない」とコメントし、新聞に掲載された。



[http://www.minamata195651.jp/pdf/minamata\\_watashitati.pdf](http://www.minamata195651.jp/pdf/minamata_watashitati.pdf)

写真、図表等は、本文と関係のないイラストです。

それを見た京大の執行部はA教授を問責した。A教授は、大学に都合のいいことを言ったので褒めてもらえと思っていたのだが、逆に叱られたのである。そこで、彼は新聞社に取り消してくれるように頼みこんだが、新聞社は取り消せないと答え、結局、「直ちには問題がない」というA教授の追加コメントが後日掲載された。今の、原発でよく使われている言葉である。

そのころ、公害裁判などでは被害者である住民に説明責任が課せられたが、専門家はだれも協力しないので、常に泣き寝入りをさせられていた。大学の教員も、住民から協力を依頼されると、「私は専門でない。多忙である」などと断るが、企業や行政から頼まれると、二つ返事で引き受けた。もちろん、住民側に立つ教員もいた。しかし、彼らは大学からは疎んじられた。東大の宇井純氏は自分も含めてそのような人達を「塩漬けにされた助手たち」と称した。年月を経るうちに、他大学では、塩漬けにされた助手たちは大学から消えていった。有形無形の圧力がかかり、いたたまれなくなったのである。

一方、京大では、塩漬けにされた助手で教授になった人もいるし、学生運動をしていて教授になった人もたくさんいる。京大では、体制に対してもの言う学生、職員、教員がたくさんいたからであろう。この京都大学新聞もその一翼を担ってきた。しかし、これからはどうなることやら。福島原発事故以後、原子炉実験所の小出裕章さんらがよく登場する。彼らの存在で、東大は御用学者ばかりだが、京大はそうでもないと評価されている。しかし、彼らが助手のままであるということは、東大も京大も50歩100歩である。これは、京大全体の問題なのか、それとも彼らの所属組織だけの問題なのかは今後の京大の行方を占う上で重要である。国立大学である限り、政府の意向に従うのは当然であるという考え方がある。しかし、その資金は国民の税金で

あり、国民の利益を第一に考えるべきである。もともと、大学の自治や学問研究の自由という概念は政府の干渉に対する自治、自由である。

いつのまにか、公害から環境に名前が変わった。この絶妙なネーミングがまた曲者である。公害というが、水俣病などは加害者と被害者が明確であり、私害である。あるいは、被害者の数が多いと公害になるのだろう。公という言葉によって、加害責任があやふやにされるのである。さらに、環境という言葉を使うと、まるで自然現象であるかのように加害責任が消えてしまう。責任を追及しない、取らないという習慣が日本の特質である。御用学者による諮問委員会も行政の責任回避のためにあるともいえる。そして、環境省ができるなど環境という言葉が体制化されると、多くの環境学者が生まれた。

しかし、反原発はまだ塩漬けコースである。脱原発とか非原発とかという言葉もでてきているが、塩を振りかける勢力はまだ強く、いまがせめぎ合いの真最中である。最近では、視聴者、読者離れを恐れ、原子力村から脱出しようとしているマスコミもあるが、なにせ原子力村は政府、地方行政、電力会社、大手原発メーカー、下請会社、学者、司法、マスコミまで含んだ一大勢力である。これは、単に原子力発電の存続だけではなく、事故の責任も絡んでいる。これまでは、避難や農作物への賠償だけであったが、これから癌などが発生すると傷害罪に問われる可能性がある。なんとか、責任を取らないで逃げ切りたいというのが本音ではないか。そこで、これからも御用学者の出番はまだまだある。一方、反原発学者は「あの人たちは変わり者で協調性がない」と排除され続けるだろう。もちろん、反原発が体制化すると、反原発学者がたくさん出てくるであろう。でも、そうであっても、初期から反原



<http://www.google.co.jp/imgres?>

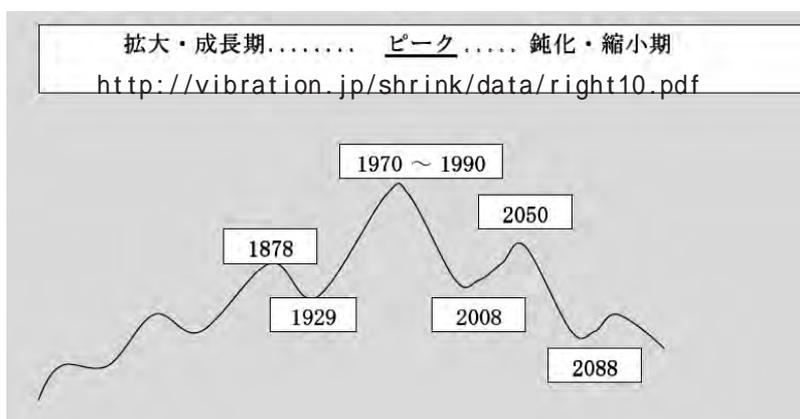


<http://www.google.co.jp/imgres?>

発を唱えていた人たちは隅に追いやられたままであろう。太平洋戦争敗戦後、一億総懺悔という言葉で責任をあいまいにしてきたが、これと同じことがなされようとしている。東電や政府という組織の責任が云々されているが、個人の責任は議論の俎上に乗っていない。組織が物を決めるのではない、そこにいる人間が決められているのである。日本では、責任をあ

いまいにするだけでなく権利と義務もあいまいになっている。その原因は、市民革命で多くの犠牲を出して権利を獲得し、それを守るために多大なコストをかけてきたという歴史の有無ではないかと思う。

最後に、私はこの3月末に定年退職を迎えた。幸運な時代を過ごした。戦争がなかった、飢えなかった、身分制度がなかった、経済成長を続けた、などが理由である。歴史上このような社会が数十年間も続いたのは、日本のみならず、世界でもまれである。しかし、の高度成長でエネルギー資源や環境を食いつぶしてきた。いま、100年分の化石燃料があるとされているが、このままの成長、すなわち指数関数的な増加(年2%)を続けると数十年で化石燃料は枯渇する。燃料の枯渇で滅びた文明は多くある。この成長のつけは、次の世代にまわされる。核廃棄物は何万年も管理し続けねばならないので、次の世代どころか、ホモサピエンスの次の種族かもしれない。成長を支えてきた我々の世代が、まずこの責任をとる必要がある。少しでも文明存続を長引かせるには社会の縮小しかない。100年分しかない化石燃料でも、使用量を毎年1%縮小すれば、永遠に100年分の残存量になる。毎年2%縮小すれば残存年数は増加していく。退職後はこの縮小社会をテーマとして考えていきたい。



# ドイツ俳句の現状

(その 3)

ALLES GUTE 編集・事務局 稲積 充 (昭和32年卒)  
minazumi@trad.ocn.ne.jp

## 筆者の鑑賞のまとめ

筆者の目で見えた秀作、佳作、通常作品の別は個人的な評価に過ぎません。その基準は、過去10年間のNHK俳句(毎日曜日)の総計約5000句のメモを取り、その中から独訳のために戴いた訳260句(2011年末現在)を秀作と評価していき、これと同等の詩的水準と考えています。佳作はこれに次ぐ水準と考えています。

ドイツ俳句協会の機関誌 Sommergras Nr.94 ~ Nr.95 に選ばれた句、Nr.94 の50句とNr.95の33句の計83句では、筆者の分類では、秀作11%、佳作26%、通常作品63%でした。以上で機関誌 Sommergras に選ばれ掲載された作品の一例を紹介し鑑賞いたしました。

次に行事、会員の頁および関連団体について簡単に触れます。

行事 Aktivitäten: 行事には、俳句選考会、俳句集会と俳句会議があります。

### 1. 俳句選考会(DHG-Haiku-Wettbewerb)

例えば、2012年選考会の募集は2011年9月号(Nr.94)の誌上に掲載されています。締切:2012年1月31日、応募資格は16歳以上の成人。1等300ユーロ、2等200ユーロ、3等100ユーロの賞金付き。また6~15歳については子供俳句選考会\*が設けられています(\*DHG-Kinder-Haiku-Wettbewerb)。

### 2. 俳句集会(Haiku-Treffen)

例えば、2011年の俳句集会(Haiku-Treffen2011)は次のように行われました。日時:2011年5月27~29日、場所:オルデンブルク大学植物園(Botanischen Garten, Universität Oldenburg) プログラム:27日は18時よりホテルで参加者交流会。28日は10時から17時まで、30分~1時間の単位で会長の基調講演に始まり、講演「日本の俳句の独語への移転」、その他「短歌の音読」に至るまで、俳句、短歌、連歌、俳文、俳画に関する発表が報告されています。29日は10時から12時まで会員集会が開催され、会長の報告、会計報告および役員選挙が行われました。

### 3. 俳句会議(Haiku-Kongress)

例えば、2009年の俳句会議(Kongress-2009)は2009年5月29~31日、ナウ

ハイム温泉(Bad Nauheim)において協会役員ほか関係者(30人ほどらしい)が集まり、自由な雰囲気、自由な題目の談話会を開いたように推察されます。

機関誌 Sommergras の誌上では参加者の談話風景が写真で紹介されていますが、内容は報告されていません。

会員の頁 Mitgliederseiten

2011年9月号(Nr.94)にはアルファベット順に125人の氏名、連絡先が掲載されています。その中には先年、私たちの ALLES GUTE のご指導を戴いたサスキア イシカワ・フランケ先生のお名前もあります。

関連団体 Links

関連団体としては独語を用いる(deutschsprachig)と国際的(international)に分類されて、そのメールアドレス(下記の下線)と名称が紹介されています。その内、前者はアルファベット順に、例を挙げると、45の団体が掲示されています。

- 1) ad-logos, Haiku und Gedankenfetzen von Alexis Dosler
- 2) artgerecht-und-ungebunden, Haiku-Foyer von Claudia Brefeld u.a. mit Mundart-Haiku-Seite, Aphorismen-Lounge, Fotoausstellung
- 3) beates.net, Literarisches, Optisches, Akustisches von Beate Conrad
- 
- 45) ziemlichkraus.de, Kurzgeschichten, Gedichte, Haiku und Gedanken dazu von Hans-Peter Kraus

ドイツには俳句結社はありませんが、メールで交流が手軽な団体がこれほど多数活動していることは俳句の発展にとって心強いことです。因みに日本の俳句結社の全体は122結社(2011年11月現在)です。また同協会の事業の中の俳句集会2011(Haiku-Treffen2011)において、主要演題として、「日本の俳句の独語への移転\*」が報告されていることは注目に値します。

(\*Übertragungen von japanischen Haiku ins Deutsche : Klaus-Dieter Wirth )

以上でドイツ俳句協会 Deutsche Haiku-Gesellschaft e.V. の活動を通じてドイツ俳句の現状について大まかにお伝えしました。なお、同協会の本部および支部の所在地をドイツ連邦の全体図の中に記した図は京機短信179号に掲載いたしております。次の第3稿からは2005年以降の活動に戻って、私たちの ALLES GUTE の会にとって最初のドイツ語の師であるオットー・モルリュス先生(Dr. Otto Molerus)のバージョンによって裏付けされた私たちの機関紙 ALLES GUTE に掲載された俳句独訳を寄稿いたします。

(ドイツの俳句事情：終わり)

# ここまで来た！日本の燃料電池自動車 (その2)

昭和39年機械科卒 平 忠明

## 燃料電池自動車最適システム

先の京機会で紹介しましたので、詳細については省略ですが、FCVを対象とした水素ガスから燃料電池発電に至る最適システムは、その後、70MPaの高圧水素ガスを貯蔵・搭載した容器を採用することであるとの結論で決着している。

その開発の歴史は、1995年頃から、ドイツ Daimler、トヨタ、ホンダが相前後して、いずれもメタノールを搭載した改質車を発表したことからスタートした。また、世界最大の石油会社であるエクソン社は、フォードと共同開発でガソリン改質車を発表し、さらに液体水素を搭載した水素エンジン車

### FCV(燃料電池車)の開発競争

基本技術で一番乗りしたメーカーが次世紀の自動車産業の覇権を握る

独自開発FCシステム

パワードFCシステム

燃 料 系	A社	B社	C社	D社	E社	F社	G社	D社
ガソリン改質	Exxon					Exxon		
メタノール改質	1997	1999	1999	Necar 3 Necar 5*1	1999	1998 (Opel)		
液体水素				Necar4		2000 (Opel)		Combustion Engine
水素吸蔵合金	1996		1999					
圧縮水素ガス	2001	2001	2000	2000 Necar4-advanced Nebus Necar1, 2	1998 ~ 2000	ワゴン車 Type4 (IMPCO)	2000 Type4 (IMPCO)	

試作車

DyneCell

Type II 容器

パワード バス:シカゴ市内、BC交通局(バンクーバー)

パワード バス:パームスプリングス(カルフォルニア)

MAN Bus (Munich) Combustion Engine

開発車  
本命システム?

\*1: 日石三菱がタイムレー車の公道走行(日本)予定。燃料系:ナフサから改質で水素抽出 日石三菱にて実証試験(2001)

図6 FCV(燃料電池車)の開発競争 (平、2002年5月 日経メカニカル掲載)

(FCVではなく、Conversion Engine) に対し、BMW、マツダ(ロータリーエンジン車)も挑戦してきた。これらは、液体燃料のガソリン搭載自動車のコンセプトから、開発に着手したものであるが、いずれもシステムから取り出せる水素重量(現在、500マイル走行が前提で、最低5 Kgの水素が必要とされている)に対し限界があった。

水素重量 5Kg 搭載することを目標として、水素吸蔵合金活用も研究され、かなり広範囲な最適成分系について、各大学・民間研究所で基礎研究がなされ、現在も継続されている。しかしながら、目標とした吸蔵量が5%以上に達する合金は得られていない。

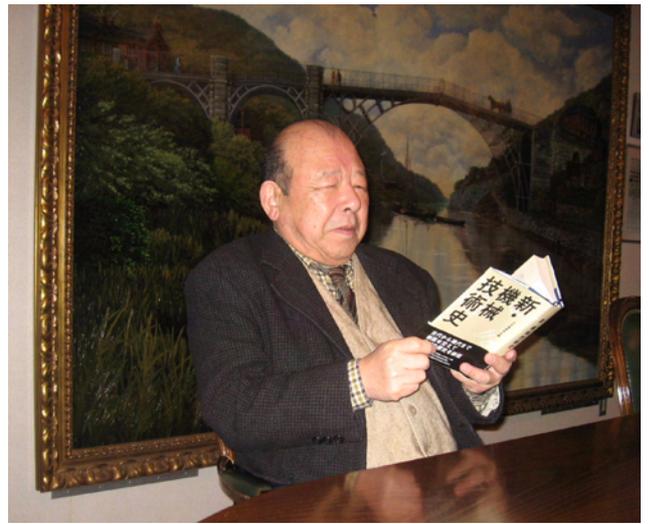
それに前後して、高圧水素ガスの貯蔵・搭載に関する技術開発および安全性の評価が、日本を主体に世界自動車・エネルギー関連業界で精力的になされた。その結果、水素重量で5Kg以上を搭載する最適システムは、技術・経済両面の判断からも、70 MPa 高圧、FRP 容器に搭載することであると結論とされ、高圧水素ガス充填所等のインフラ関連技術・要素部品も開発され、その技術基準も世界でHarmonizationが進行しつつある。

筆者はカナダ Powertech 社と共同で企画立案したHYD700 国際プロジェクト：高圧水素 Components の開発・評価、において立案者として Steering Committee 議長を4年間務めた。これには、世界の主要な自動車会社6社、および高圧系部品製造会社が参画したもので、大きな成果を得ることができ、その後の各社における70MPa仕様のFCV開発に貢献した。その成果を、2004年6月横浜で開催された、“Hydrogen 2004” 国際会議で発表し、プロジェクトは終了した。この70MPaシステムでは、常用充填圧力が約700気圧の高圧で、容器・配管・バルブなどの各 Components の設計・最低保障圧力は、適用規格により異なるが、1,500 ~ 3,000 気圧に達するため、その安全性を確実に担保することに、関係者は経済性に配慮しつつ、いかに目標を達成するかに腐心しているところである。

また、日本は現在東北地方災害後の経済発展を効率よく促進するためには、各方面で規制緩和の必要性が強く叫ばれているが、こと、高圧水素ガス関連についても、法律・条令・技術規格面でも規制緩和が不可欠である。私たち技術系の領分としては、JIS・KHK：高圧ガス保安協会の技術規格を国際規格に準じたHarmonization を早急に達成することが、燃料電池自動車・水素充填所のコストを低減させ、普及促進に直結するものであると認識している。

(つづく)

機械学会から一昨年末、機械の歴史を総括する書物が上梓された。技術書には珍しく、縦書きで絵も入っている。時代を、古代、中世、近世、近代、現代に区分し、東洋、西洋、日本、それぞれについて、まんべんなく叙述されている。もとより、B6版580頁の書物に広範な事実の詳細を収めることは難しいので、当時の技術のカタログ集のようなものになることはやむをえない。しかし、類書も少ないことでもあ

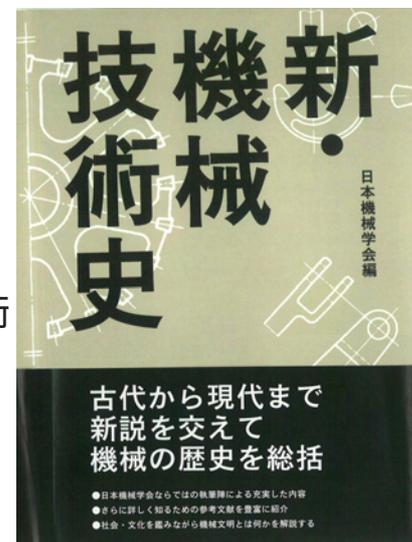


り、また、現在までに判った数々の事柄を網羅されているので、重宝なものであることは間違いない。分担して執筆された12人の方々は、それぞれの分野で永年研鑽を重ねて来られた方なので、叙述にもその端々が偲ばれる。

機械と機械技術の変化・発展のメガトレンドは次のように整理されている。

1. 機械とは、昔は何よりも「重いものを動かすもの」だった。そこでは材料と構造の強さが技術者最大の関心事であった。
2. 近代になると、機械には大きな動力（力と速度の相乗積）が求められるようになり、速度が重要な役割を果たすものとなった。特に、鉄道と近代造船は学問としての機械工学の形成と発展を促した。ここでは機械の運動、構造の強さ、それに流体や熱などエネルギーに関する知識や学問が深められた。これとともに、技術の主流はそれまでの職人的技術から工学技術へと変貌した。
3. 20世紀に入ると、機械の種類は増え、機械は巨大で複雑なものとなった。このような機械の働きを安定で確実なものとするために智能化の必要が生まれ、20世紀の後半にはコンピュータの利用が広まった。メカトロニクス、計測と制御、コンピュータ利用などの工学技術が、ここで生まれた。
4. 20世紀の末期には、人間の健康・福祉と地球環境の保全に人々の関心が集まり、機械においてもこれらに貢献する新しい技術が求められるようになった。生体・福祉工学や安全工学、環境工学とその関連技術が生まれ、現在発展しつつある。他方では宇宙や深海のほか、生物模倣などのニュー・フロンティア、あるいは超高速、超高压、極微など「超」や「極」の字がつく領域への挑戦が続いている。
5. 機械の材料と工作に関する技術はどの時代にも重要なものであり、それぞ

れの時代にふさわしい発展があった。新素材の開発や新しい加工法の出現は機械性能にブレークスルーを与える原動力となった。



技術の歴史を学ぶ意義を次のようにまとめられた。

- 1 . 現代の技術世界では多様化と専門化が著しく、技術の全体像が見えにくくなっている。技術の歴史を学ぶことによって限りなく広がったさまざまな技術分野がいつ、どのように生まれて発展（あるいは消滅）し、分化していまの形になったかを知ることができ、いろいろな領域の間との関係と技術の全体を総合的・立体的に把握することができる。
- 2 . どんな技術も技術製品も「すんなりと」でき上がるものではない。技術の内側だけを見ても、着想から試行錯誤、ときには失敗や挫折など苦渋の道を経て完成に至るのである。技術が広く世間に定着するまでの曲折もある。こういった「創造のプロセスとダイナミズム」を知るとは特に技術開発において大きな力となる。
- 3 . 技術は社会を変えるが、社会もまた技術のあり方を規定する。技術はそれ自身の論理にしたがって発展することもあるが、技術の進む方向は社会からの要請または制約によって強く影響される。このような技術と社会との相互関係を歴史の中で見ることで現在を知り、未来への手がかりが得られる。また、人間の文化と文明における技術の功罪について幅広い視野を持つことができる。
- 4 . 時代を切り開いた技術者の姿と生きざまを見ることで、ある状況の下における個人の決断と行動の正しさと限界、あるいは歴史における個人の役割を知ることができる。これは人と社会への責任を自覚しつつ時代を切り拓く技術者であろうとする自分への励みとなり、戒めとなる。

歴史に明らかなように、技術はつねに変化している。技術に関係するものは誰でも、自分の仕事を通して“いまつくられつつある”技術の歴史に参画している。そこで、ぜひ「自分の技術史」を構築し、隣接領域を含めた技術史の研究をすすめるのがよい。本書がその手引きとなれば幸いである。

以上は本書の最後の部分よりの抜粋である。共感するところが多々あるので元のままに引用した。

現代に入り、関連する分野の科学と技術が急速に進歩したので、機械も多岐に分岐しながら発展したが、これらについても目配り良く記述されている。座右におき、事に当たって照会しながら読むに適切な書物である。

## 日本機械学会関西支部シニア会 産業・機械遺産ツアーのおしらせ

日本機械学会を始めとする産学官の機械工学の先達が培ってきた機械遺産を見学、調査、研究し、その歴史的意義を認識、広報し伝承する事、およびシニア会員の知識、経験を活用するとともに会員数の増強に役立てる事を目的としてシニア会主催で機械遺産ツアーを催行することになりました。

記念すべき第一回は5月31日(木)の午後、京都大学総合博物館に行くことになりました。機械出身の塩瀬准教授の講演や、技術史資料庫ツアーも行われます。これを機会にシニア会へ入会されませんか



### 第1回 エネ科松本研（機能システム設計研）同窓会

平成24年6月23日(土)から第1回松本研同窓会として研究室0Bによる後援会と懇親会を開催いたします。卒業生をはじめ関係者の方々は是非ご参加ください。行事の詳細や参加申込方法は、研究室HP

(<http://www.system.energy.kyoto-u.ac.jp/dousokai.html>)

をご覧ください。

## 昭和56年卒業同期会（卒業30周年記念）報告

2011年10月15日（土）～16日（日）に、ホテル松井で、そして、二次会：祇園お茶屋と開催致しました。翌日、各自、グループ・家族での京都観光、オプションとして、吉田キャンパスツアー、亀岡カントリークラブでのゴルフ・コンペを楽しみました



### —— 京機短信への寄稿、宜しくお願い申し上げます ——

#### 【要領】

宛先は京機会の e-mail : [jimukyoku@keikikai.jp](mailto:jimukyoku@keikikai.jp) です。

原稿は、割付を考慮することなく、適当に書いてください。MSワードで書いて頂いても結構ですし、テキストファイルと図や写真を別のファイルとして送って頂いても結構です。割付等、掲載用の後処理は編集者が勝手に行います。宜しくお願い致します。

ひねくれた性格の筆者が、たまには真面目なコメントも交えながら、有難い諺に揶揄された解釈を加えた。印は真面目なコメントであることを示し、印は字句を若干置き換えて捻り、・は適当な解釈を記している。

### 鶏口となるも牛後となる勿れ

- ・小さくてもいいからトップになるなんて、貴方は立派なことを云うけれど、なによ、上から下まで貧弱じゃないのよ。

### 前門の虎、後門の狼

前門の寅、後家のおかみ

- ・越前屋手代の寅が、後家になった越後屋のおかみに懸想したなんてのは平凡過ぎる。
- ・以前は三十後家は持たずと云ったが、今は女子高校生から養老院の住人まで、その気十分。狼は遠ざけておくこと。でも、狼を気取っていたのに、気が付くとボロボロ狼になっていたりすることもあるら狼も気をつけよ。

### 後顧の憂い

- ・後ろ髪を引かれる思いでいるのに、引かれる髪がない人の身になってみよう。鏡で確認しても、やはり後頭部に髪はない。憂鬱だ。

公庫の憂い

- ・勿論、住居購入資金の金利の話です。収入も減り、預金金利も殆ど付かないのに、借り換えもままならず、高い金利を払い続けている。

考古の憂い

- ・古遺跡を捏造したのがいた。これに乗って遺跡饅頭か何で一儲けしようとしたのもいた。

### 弘法にも筆の誤り

- ・猿が木から落ち、河童が流されることもある。弘法さん、字を間違えても気を落とさず修行を積んでね。

- ・弘法：「筆が滑った。」

筆：（小声で）「筆のせいにしないでね。」

弘法：（小声で）「頼む、この場は私を立ててくれ。」

## 紺屋の白袴

- ・ 匠は、袴を汚すようなヘマはしない。

## 子は謎（かすがい）

子は春日井

- ・ 臨時ニュースをお伝えします。誘拐が心配されていた子供は、春日井市の商店街で補導されていたことが判りました。ではご両親の心境をお伺いします。

# INFO

詳細はPDF版でご覧下さい。

## 1．家電業界の凋落は誰のせいなのか？ 統計学的思考術

日経ビジネス

吉田耕作

<http://business.nikkeibp.co.jp/article/manage/20120406/230713/?P=1>

この例から得られる教訓は、日本がどんなに技術的に優れたものを開発しても、政府の強力なバックアップがあり、政府、業界、企業が一体となって協調戦略を取らない限り、世界の競争には勝てないということである。日本の技術が国際標準として認められなければ、その業界のみならず国として莫大な経済的利益を逸失する事になるのである。そして、その戦略を実行させるには、多くの国々の人々と、英語による、異文化コミュニケーション能力が必須である。日本の携帯電話やスマートフォンが世界的なレベルではほとんど存在感がないというのは、国際標準を抑えられているのも大きな要因の1つである。日本のリーダーの全体観がますます問われる時代に入った。

## 2．苦境に立つ日本のエレクトロニクス産業

2012.04.16

三井物産戦略研

[http://mitsui.mgssi.com/issues/report/r1204i\\_nishino.pdf](http://mitsui.mgssi.com/issues/report/r1204i_nishino.pdf)

## 3．東芝、揺れるエルピーダ支援

日経ビジネス

<http://business.nikkeibp.co.jp/article/topics/20120412/230885/?P=1>

東芝が経営破綻したエルピーダメモリの支援を巡り揺れている。DRAM 事業は

欲しいが、丸ごと抱え込むのはリスクが大きい。日韓連合という新たな戦略は、悩む東芝を救う一手になるか。

#### 4 . スマートフォンの理想と現実

DIAMOND Online

端末メーカーは疲弊、通信事業者も過当競争へ  
後退局面が目立つ日本ケータイ産業への処方箋

<http://diamond.jp/articles/-/17089>

安易にAndroid端末を乱売し、端末の生産・販売、コンテンツのエコシステム、そしてインフラを毀損しつつある。活況を呈している通信事業者も、過当競争に巻き込まれ、業績は徐々に厳しくなりはじめている。日本のケータイ産業の現状をかいつまむと、こうした只中にある。

#### 5 . 日の丸ディスプレイ新会社誕生の裏に黒子あり

日経ビジネス

<http://business.nikkeibp.co.jp/article/opinion/20120412/230900/?P=1>

価格下落の続くテレビ用の大型パネルではなく、スマートフォンやタブレット端末用の中小型液晶パネルで生き残りをかける「日の丸ディスプレイ連合」。ここに至る2年半の間、「切り出し型」の事業再生のスキームを描き、実現に向けて奔走してきた、1人の元アナリストがいる。

#### 6 . 台湾・中国 中根レポート

<http://techon.nikkeibp.co.jp/NMD/taiwan/>

シャープ・鴻海グループの提携：「共存共栄」と「同床異夢」(1)

<http://techon.nikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20120409/211872/>

シャープ・鴻海グループの提携：「共存共栄」と「同床異夢」(2)

<http://techon.nikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20120410/212211/>

今回の提携内容を見ると、シャープにとってのメリットが大きいですが、Hon Haiグループの目的は「技術へのアクセス」である。Hon Hai側から見れば、今回の提携は「はじめの一步」である可能性が高い。今後の両社の協業動向をどう読むのかが重要になってくる。

#### 7 . 2011年中国電子情報産業の動向について

JEITA 電子情報技術産業協会

<http://www.jeita.or.jp/japanese/china/index.html>

2012年4月10日

<http://www.jeita.or.jp/japanese/china/pdf/20120410.pdf>

2012年3月27日

中国の12次5カ年計画における環境政策及び環境規制等の動向について

<http://www.jeita.or.jp/japanese/china/pdf/20120327.pdf>

2012年3月21日

【講演資料】中国の最新事情

<http://www.jeita.or.jp/japanese/china/pdf/20120321.pdf>

## 8. エルピーダ買収にハイニックスが名乗りを上げた理由 JBPress

韓国内では本気度に疑問も、すべてはオーナー会長の心次第

<http://jbpress.ismedia.jp/articles/-/34919>

会社更生手続き中のエルピーダメモリの支援企業を選定する第1次入札が締め切りになった。東芝や米マイクロン・テクノロジーなど予想された顔ぶれに加え、韓国のSKハイニックスが応札したことが分かった。DRAM世界2位の同社は一体どこまで本気なのか？

## 9. 日本半導体・敗戦から復興へ JBPress

エルピーダとは一体何だったのか、半導体の歴史の中で俯瞰してみる

<http://jbpress.ismedia.jp/articles/-/34901>

本稿では、先月の記事よりいささか冷静になってエルピーダ経営破綻を見直してみたい。特に、半導体の歴史の中で、エルピーダとは一体何だったのかを考えてみたい。

## 10. 鴻海とシャープ：液晶の未来 The Economist

<http://jbpress.ismedia.jp/articles/-/34925>

日本の家電産業の衰退と中国の家電産業の台頭（鴻海は大量のiPhoneとiPadを深センの巨大施設で組み立てている）の象徴として、この提携に勝るものはなかなかないだろう。

## 11. シャープ・鴻海提携の内幕を読む、日台協業で韓国勢に一矢報いられるか 財部誠一の「ビジネス立体思考」

<http://www.nikkeibp.co.jp/article/column/20120330/304014/?ST=business&P=1>

日台連携で韓国勢に一矢報いることになるのか。台湾への技術流出で日本企業がさらに窮地に陥るのか。シャープ・ホンハイ資本提携の今後から目が離せない。

## 12. シャープまで飲み込んだアップルのサプライチェーン 真壁昭夫 絶望の淵にいる日本企業へ贈る「世界戦略」の心得

<http://diamond.jp/articles/-/16919>

“世界の工場”の地位から落ちた米国には、今でもアップルやインテルなど世界有数の企業が残っている。彼らは、彼らの環境にあった事業展開の手法

を見つけて生き残ってきた。わが国も、そうした道を見つければ良い。今まで上手く行かなかったと言って絶望しても意味はない。問題はこれからだ。今まではできなかったかも しれないが、明日からできるようにすればよいのである。

**13 . シャープとの提携はEMS の終わりの始まりか** 上海発・EMS 通信  
<http://techon.nikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20120406/211814/>

「フォックスコンがApple の仕事をして得る利益率はわずか2%に過ぎない。郭氏がいつまでもこの情況に甘んじることはないだろう」と分析。その上で、シャープの筆頭株主になったことや不動産、太陽光発電への進出という一連の動きは、フォックスコンが単純なEMS からの脱皮を図っている証左だとした。とりわけシャープとの提携については、シャープの技術を得ることで、将来的にフォックスコン独自ブランド設立の下地を作ったとの見方を示した。

**14 . 鴻海が事実上の「買収」、シャープは下請けに甘んじるのか**  
大前研一の「産業突然死」時代の人生論 nikkei BPnet  
<http://www.nikkeibp.co.jp/article/column/20120409/305046/?ST=business&P=1>

シャープの技術はジリジリと鴻海に搾り取られ、それが役に立つ間は提携関係が続くが、役に立たなくなったら提携関係は解消。気がついたらシャープは鴻海的设计・製造部門の下請け企業となり、自力更生が一層難しくなっている。

**15 . アップルにあって民生電機3社にないもの** DIAMOND Online  
「ロマン」「ソロバン」「ガマン」 藤森裕司 バークレイズ・キャピタル証券  
<http://diamond.jp/articles/-/16875>

悲劇的な決算を迎えるパナソニック、シャープ、ソニーの民生電機3社。なぜ3社はアップルになれなかったのか。スティーブ・ジョブズのように自社製品が世界をどう変えるのかという未来図(ロマン)を示し、組織を先導する強力なリーダーがいなかったというのはその答えの1つだ。しかし、他に2つある。キャッシュ化速度の違い(ソロバン)と、難局を耐え、乗り越える力(ガマン)だ。

**16 . 「瀬戸際経済を乗り切る日本経営論」** 伊藤元重  
グローバルな分業モデルに切り替え、競争力を強化する

<http://www.nikkeibp.co.jp/article/column/20120404/304482/?ST=business&P=1>

ある家電メーカーのトップによる次の発言は、日本の産業の国際競争のあるべき姿を考える上で重要なポイントだ。「我々はなぜサムスンに負けているの

か、徹底的に検討した。いろいろな要因を検討したが、結論として出てきたことは非常に簡単なことだった。サムスンも日本企業と同じことを日本の半分ほどの人件費で行うことができるのだ」

## 17. この異常事態は単なる買い控えだけなのか？ DIAMOND Online

家電価格 “底なし下落” の知られざる真因

<http://diamond.jp/articles/-/16983>

薄型テレビ、ブルーレイ、パソコン。今、家電の花形製品が熾烈な価格競争に巻き込まれ、底なしの下落に見舞われている。この下落ぶりを見ると、家電市場がこれまでと異なるフェーズに突入したかのような印象さえ受ける。原因は、長引く不況による需要の減少ばかりではない。一筋縄ではいかない構造的な要因も見え隠れする。市場で起きている「異常事態」の背景を探ってみよう。

## 18. 日本の家電にはまだまだ未来がある。 シリコンバレーで考える

「頭脳」を使って成長路線を模索せよ 安藤茂彌

<http://diamond.jp/articles/-/16934>

日本の家電にはまだまだ未来があると信じたい。我々が日々使う製品だからだ。リストラする前に、頭を柔らかくして収入を増やす道を探るべきだ。いまの若い世代は先輩のリストラを見て、自分の行く末と重ね合わせて意気消沈している。赤字3社で新たに就任した社長が「成長路線」を描いて示せば、若い世代はどんなに元気づけられるだろうか。苦境の最中に登場した3社の指導者に「頭脳」の発揮を心から望みたい。

## 19. 「スマート家電」という名でネット家電が復権するかもしれない4つの理由 情報通信 ニュースの正鵠2012 情報通信総合研究所

<http://www.icr.co.jp/newsletter/news/2012/n201203.html>

「白物家電をネットに接続して付加価値を付ける」というと、「またか」と苦笑いを浮かべる人も多いだろう。しかしその後、インターネットの市場環境は大きく変化して、家電をネットに接続するためのハードルは劇的に低下した。本稿では、具体的にどのような環境変化が生じてきたのかを確認することで、インターネット家電の可能性を再度考える材料としてみたい。

## 20. 台湾・中国 中根レポート

[http://techon.nikkeibp.co.jp/bn/mokuji.jsp?MAXCNT=20&TOP\\_ID=101714](http://techon.nikkeibp.co.jp/bn/mokuji.jsp?MAXCNT=20&TOP_ID=101714)

2月の台湾電子セクター売上高、iPhone/iPad 動向 / 液晶・LED・太陽電池など主要デバイスで稼働率が軒並み上昇へ

<http://techon.nikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20120402/210692/>

2月台湾電子セクター売上高の詳細、電子部品・半導体・液晶・LED・太陽電池の稼働回復は本物か？

<http://techon.nikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20120402/210710/>

台湾Siファウンドリの2月売上高、TSMCは前月比-2%、ASEは+2%

<http://techon.nikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20120402/210613/>

2月の台湾大型パネル出荷数量は前月比28%増と大幅増、稼働率も上昇へ

<http://techon.nikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20120405/211551/>

大型液晶パネル需給の見方：緩やかな回復基調を想定、最終需要と供給側の稼働率と価格がカギ

<http://techon.nikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20120405/211552/>

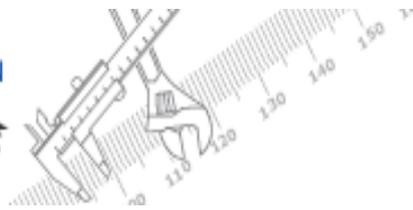
## 21. 家電の次はアニメか？ 日本に猛追する韓国

“ジャパニメーション”危うし

WEDGE REPORT

<http://wedge.ismedia.jp/articles/-/1772>

老舗アニメ制作会社のトップは自信満々だったが、テレビ・劇場用ともアニメ制作の芽は萎むばかり。遅ればせながら日本も海外を睨んだコンテンツ流通に力を入れ始めているが、確たる方向性は見えてこない。



## KART

### “KZ-RR10”シェイクダウン

3月28日、スポンサーである琵琶湖スポーツランド様の駐車場をお借りして、今年度車両のシェイクダウンを行いました。前日にシフトワイヤーが切れるというトラブルや電装系の故障に見舞われ、その対策に追われることとなりましたが、当日は午前9時半には現地に到着し、メンバーはピット設営・車両準備を行ってから、10時頃よりエンジンの暖気運転を開始しました。およそ15分間のエンジンの暖気運転と入念な最終確認を経たのち、ドライバーの森が、“KZ-RR10”に乗り込みます。そして、10時半頃、“KZ-RR10”はついにシェイクダウンの時を迎えました。1周およそ200mのコースを慎重に周回した後、車両を停止させ、メンバー全員が入念に車両全体を確認します。足回り・フレームに異常は見られませんでした。エンジンからオイルがにじみ出ていたため、この日の走行はこれで終了し、ピットにてしばらくエンジンをかけて様子を見たのち、大学に戻りました。

今年度は、製作途中で車両のリア周りにいくつかの設計変更を行ったこともあり、当初のシェイクダウン予定日より1週間の遅れをとることとなってしまいましたが、どうにか3月中に車両をシェイクダウンさせることができました。しかしながら、シェイクダウンは1年の活動の中での一区切りでしかなく、9月の大会までには、静的審査の対策に加え、車両をさらに改良していかなくてもなりません。メンバー一同これからも精進してまいりますので、今後とも京都大学フォーミュラプロジェクトKARTに温かいご支援・ご声援をよろしくお願いたします。



シェイクダウンを行う今年度車両  
“KZ-RR10”



シェイクダウン達成の記念撮影